

着床不全の検査（血液検査）

検査内容・原因		検査項目	費用
内分泌異常	甲状腺機能検査 甲状腺機能亢進・低下症は着床や妊娠の継続を妨げてしまい、流産のリスクを上昇させると言われています。	<ul style="list-style-type: none"> • TSH（甲状腺刺激ホルモン） • 遊離 T4（遊離甲状腺素） • 抗 TPO 抗体（抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体） 	私費） 3,300 円 （税込み）
免疫系異常	抗リン脂質抗体検査 規定の抗体のいずれかが陽性で、12 週間の間隔をあけて再度検査しても陽性の場合には、抗リン脂質抗体症候群と診断されます。子宮に血流障害が起こり、着床や妊娠の継続を妨げてしまうとされています。	<ul style="list-style-type: none"> • 抗カルジオリピン抗体 I g G / I g M • β2 グリコプロテイン I（β2GP I） I g G / I g M • LA（ループスアンチコアグラント） 	私費） 1,1000 円 （税込み）
	免疫抑制機能検査 《Th1/Th2》 妊娠時は、胎児や胎盤を異物として攻撃する 1 型ヘルパー T 細胞（Th1）は減少し、2 型ヘルパー T 細胞（Th2）が優位となることで妊娠が維持されます。そのバランスが崩れ Th1 優位となると、着床や妊娠の継続を妨げてしまうとされています。 《NK 細胞活性》 NK 細胞は、体内で異物を攻撃し排除する役割を持つ細胞です。NK 細胞の力が強い場合、着床や妊娠の継続を妨げてしまうとされています。	<ul style="list-style-type: none"> • 1 型ヘルパー T 細胞 / 2 型ヘルパー T 細胞 （Th1/Th2） • NK 細胞活性 	私費） 27,500 円 （税込み）
	ビタミン D 検査 25-OH ビタミン D は、骨の形成を助け、カルシウムの吸収を促進します。最近では免疫やがん予防、生殖への影響など様々な働きが分かり、注目されているビタミンです。着床や妊娠の継続との関連が考えられています。	<ul style="list-style-type: none"> • 25-OH ビタミン D 	私費） 2,750 円 （税込み）
血液凝固異常	血液 5 種項目・血液凝固因子検査 貧血や血小板減少、血液凝固因子欠乏の有無を調べます。血液を止める働きに異常がある場合、血栓ができやすく、妊娠の継続を妨げてしまうとされています。	<ul style="list-style-type: none"> • WBC、RBC、Hb、Ht、PLT • プロテイン C • プロテイン S • 第Ⅻ因子 	私費） 3,850 円 （税込み）
染色体異常	染色体検査 染色体異常の保因者(*)かどうか調べます。 (*「染色体異常の保因者」とは、次の世代へ引継ぐ可能性のある染色体異常を持つ者のこと。)	<ul style="list-style-type: none"> • 妻 染色体検査 • 夫 染色体検査 	保険) 妻：10,000 円 夫：10,000 円